

平成22年(2010年)1月25日

建設部 河川課

## 浅川ダム本体工事の入札手続きについて

平成21年	7月22日	(県)建設工事請負人等選定委員会
	7月27日	長野県総合評価事業審査会
	9月10日	<b>入札公告</b>
	10月13日 ~ 10月22日	入札書受付期間
	10月29日	簡易型評価点の公表
	11月5日	技術評価委員会 (技術提案のヒアリング及び審査)
	11月12日	技術提案の評価点を含む 価格以外評価点の公表
	11月13日	開 札・価格の公表
	11月16日	開札状況の公表
	11月18日	落札者候補者の決定、通知
	~平成22年1月18日	低入札価格調査
	1月25日	<b>落札者の決定、通知</b>
	未 定	仮 契 約
平成 22 年 2月議会に上程予定		議 会 案 件 提 出
		本 契 約

平成22年(2010年)1月25日

長野県建設部 河川課 治水第2係

(課長)北村勉 (担当)木村智行

TEL: 026 - 235 - 7309(直通)

FAX: 026 - 225 - 7069

E-mail: kasen@pref.nagano.jp

長野県会計局 検査課

(課長)小林睦夫 (担当)野本幸男

TEL: 026 - 235 - 7360(直通)

FAX: 026 - 235 - 7472

E-mail: kensa@pref.nagano.jp

## 浅川ダム建設工事にかかる低入札価格調査の状況と発注者の対応について

### 1 低入札価格調査結果(低入札価格調査委員会(平成22年1月18日開催))

#### (1) 材料及び労務等の調達を含む見積価格の妥当性

設計図書に基づく必要な項目は漏れなく見積られており、見積価格も下請予定者からの見積りに基づくなど根拠がある。

主な材料費や労務単価については著しく低価格な見積りはなく、妥当性がある。

【県積算に比べ工事施工に関わる直接工事費 約70%、仮設工を除くと 約80%、工事の主な部分である堤体工 約90%】

コスト縮減の理由に合理性があり、見積価格に妥当性が認められる。

下請予定業者、資材調達予定業者とも実績のある者が選定されており、実効性のある施工体制となっている。

#### (2) 施工履行実績から見た施工能力

過去に同種の施工実績がある。

#### (3) 技術者の資格及び専任制等

配置技術者は必要な資格及び施工経験を有し、専任で配置ができる。

また、追加技術者も同様の資格及び施工経験を有し、専任で配置ができる。

#### (4) 財務状況からみた経営状況

財務諸表から見る経営状況は概ね良好である。

以上「総合的に判断し、施工履行可能とした。」

## 2 県内企業からの調達

(1) 予定されている施工体制によると、主な下請予定業者（一次）は県内業者である。

【1次下請金額に対する県内企業下請金額の占める割合 約90%】

(2) 工事に使用する主要な資材の購入予定先は、県内の企業であり、その材料費に著しく低い価格の見積りはない。

【生コン・骨材・セメント・鉄筋の県積算価格に対する割合 約80～100%】

(3) 地元の方々の雇用を計画している。

以上「県内経済への波及効果は期待できる」

## 3 品質確保のための監理体制の強化

(1) 請負者の監理技術者を追加配置させる。【各構成員に専任1名を追加 計6名】

(2) 検査組織による抜き打ち検査等を実施する。

(3) 現場における施工監理体制の強化

・監督職員がダム現場に常駐して、監理を行う。

・施工中の段階確認について、立会い頻度を上げて実施する。

(4) ダムおよび地質の専門家を含めた「施工監視委員会（仮称）」を設置する。

(5) 契約後に、当初の施工体制どおりに下請けされているか、確認調査を実施する。